



印 西 市

議会だより

第157号

平成23年(2011年)8月

発行

千葉県印西市議会

編集

議会だより編集委員会

〒270-1396

千葉県印西市大森2364-2

TEL 0476-42-5111(代)

FAX 0476-42-5299



松山下公園での総合開会式

平成23年

第

2

回

定例会

会期6月9日～30日

第62回 郡市民体育大会 印西市総合第2位



16番 上條 公司
大森3365-20

議員の紹介

出山國雄議員の辞職に伴い、平成23年5月25日付けで、上條公司議員が新たに議員となりました。

市議会議員

功労表彰

この度、市議会議員として永きにわたり、市政の発展に努めた功績をたたえ、全国市議会議長会から、板倉正直議員(25年)・山田喜代子議員(15年)が表彰されました。



議案等議決結果一覧表

議案番号	件名	議決年月日	議決の結果
議案第1号	印西市自転車駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	6月30日	原案可決
議案第2号	印西市税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	6月30日	原案可決
議案第3号	平成23年度印西市一般会計補正予算(第1号)	6月17日	原案可決
議案第4号	平成23年度印西市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	6月17日	原案可決
議案第5号	財産の取得について	6月30日	原案可決
議案第6号	平成23年度印西市一般会計補正予算(第2号)	6月30日	原案可決
議案第7号	和解について	6月30日	原案可決
報告第1号	繰越明許費繰越計算書の報告について	6月17日	—
報告第2号	事故繰越し繰越計算書の報告について	6月17日	—
報告第3号	専決処分の報告について	6月17日	—
発議案第1号	ニュータウン等対策特別委員会の設置について	6月17日	原案可決
発議案第2号	クリーンセンター次期中間処理施設整備等特別委員会の設置について	6月17日	原案可決
発議案第3号	印西市基本構想の策定に関する条例の制定について	6月30日	原案可決
発議案第4号	議会改革推進特別委員会の設置について	6月30日	原案可決
発議案第5号	容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書の提出について	6月30日	原案可決
発議案第6号	地方消費者行政に対する国の実効的支援を求める意見書の提出について	6月30日	原案可決
請願第23-2号	夏休みの小学校のプール開放再開を求める請願	6月30日	不採択
請願第23-3号	「容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書」の採択を求める請願	6月30日	採択
請願第23-4号	「地方消費者行政を充実させるため、地方消費者行政に対する国による実効的支援を求める意見書」を政府等に提出することの採択を求める請願	6月30日	採択

第2回定例会は会期22日間で開かれました。条例の一部改正が2件、補正予算が3件、その他2件の計7議案のほか、報告が3件、議員発議による発議案が6件、請願3件が提出され慎重な審議が行われました。なお、議案などの議決結果については、左表のとおりです。

一般質問

平成23年第2回定例会では開会日から6日間、19人の議員による個人質問が行われ、市政全般に対して活発な議論が展開されました。ここでは紙面の関係でその一部を掲載いたします。

「暫定商業施設」の動向について

齋藤 光彦

個人質問

質問 暫定施設の動向について

都市建設部長 千葉ニュータウン事業は平成25年度の収束を控え、新住事業者として暫定施設については、事業収束にあたり、暫定利用を解消し、本設化としての土地処分を行う必要があり、現在の管理運営者である（株）千葉ニュー



本設化が待たれる暫定施設

「高花ショッピングセンター」で、次に「一部継続でその他の施設は返還となるもの」としては、印西牧の原駅北口の「ビッグルーフ」及び「いには野ヴァリオ」である。次に「施設全体として返還となるもの」としては、「ショッピングモール西の原」及び「滝野ショッピングモール」である。今後の予定として、返還する施設のテナントへは（株）千葉ニュータウンセンターにより説明を行い、それぞれの施設については、（株）千葉ニュータウンセンターにより本設化するものを除き、本設化しないものについては新住事業者へ返還する、といった作業を平成23年度中に順次行っていく。なお、返還される場所については、その後、都市再生機構が、新たな事業者を探していくこととなる。継続する施設となった「高花ショッピングセンター」は、（株）千葉ニュータウンセンターと都市再生機構の間で本設化としての契約がなされている。

その他の質問

・千葉ニュータウン事業について 他

個人質問

印西クリーンセンター、新建設予定地決定！

板橋 睦

質問 環境問題について

環境経済部長 印西クリーンセンター次期中間処理施設の事業対象用地の選定については、3月22日、3月29日に印西地区環境整備事業組合の正・副管理者間で、協議が行われたと聞いている。

その後、白井市長選を挟み5月23日、5月28日、6月2日と協議が重ねられ、その協議結果がまとまったことから、6月2日の組合臨時議会終了後の全員協議会において、管理者より協議結果の報告がされたと聞いている。

その翌日の6月3日には、組合管理者から市へ「次期中間処理施設建設予定地の決定について」の通知があった。この報告内容としては、次期中間処理施設建設予定地として、千葉ニュータウン中央駅圏9住区業務施設地区内に決定したという内容である。今年度は施設整備にあたり、国から「循環型社会形成推進交付金」を受けるために策定する「循環型社会形成推進地域計画」の作成や環境影響評価の方法書の作成、基本設計などが予定されている。

その他の質問

・病院問題について（医療法人社団正徳会の現状について・医療法人緑生会の推進状況について）

・環境問題について（合併処理浄化槽事業の現状について）

・福祉問題について（公営住宅の現状について・配食サービス事業について）

・統一地方選、印西市議選について（今回の不祥事について、どのように受けとめているのか）

個人質問

東日本大震災による利根川堤防の被害と復旧

中澤 俊介

質問 利根川右岸堤防の被害状況について伺う。

総務部長 東日本大震災及びその後の余震の影響により、市内の利根川における重要水防箇所の見直しが行われ、5箇所から、12箇所に変更さ

れた。その内訳として、水防上最も重要なAランクが、4箇所あり、いずれも構造物で、北千葉揚排水機場樋管、手賀沼樋管、木下取水樋管、手賀沼流域下水道樋管において、構造物周辺の空洞化の恐れが

指摘されている。

次に水防上重要なBランクが7箇所あり、液状化の発生、法面の亀裂、護岸の目地破損等の被害がある。

質問 当該被害箇所の復旧見通しについて伺う。

回答 現在、被害箇所については、順次、仮復旧を行っている状況であり、本復旧については、渇水期を迎える本年11月頃から実施する旨、国土交通省利根川下流河川事務所より説明を受けている。

質問 最も危険なのは、梅雨入りから台風シーズンまでの間であり、前倒しの復旧工事と水防対策について伺う。

回答 市としては、迅速な復旧作業の実施について、国土交通省利根川下流河川事務所へ要望している。なお、地震発生により目に見える被災箇所については、仮復旧状態で、洪水期を迎えることや、さらに、目に見えないクラックや地盤のゆるみが発生していることから、大雨に伴う河川の水位上昇によって、漏水、堤防のすべりに伴う破堤が発生する恐れがある。このよう

なことから、出水期間中は、特に水防重要箇所の巡視や点検の強化と、利根川水防組合及び水防団との連携のもと、迅速な対応を検討している。

個人質問

病院誘致、なぜ失敗？商店の立ち退きは問題

山本 清

質問 総合病院を計画していた医療法人社団正徳会が撤退を決めた。病院を公募して正徳会を選んだ市は、資金計画、医師確保の状況など、具体的に精査したのか。

健康福祉部長 資金計画、医師の確保については、当該審査会で、正徳会が提出した資料により審査を行った。

質問 その、正徳会が提出した資料が正しいかどうか、市として独自の調査を行ったのか。銀行が融資を確約しているか、医師が勤務を確約しているか、などを確認したか。

回答 していない。

質問 今年4月に病院開設許可を申請した医療法人緑生

質問 緑生会の病院の着工はなぜ遅れているのか。着工はいったい。

回答 土地の取得に関して都市再生機構と事業借地などについて再検討する時間が必要となったため、遅れが生じたとのことだ。今年7月初旬、都市再生機構からの用地引き渡し後、速やかに着工されたいと考えている。

質問2 西の原のショッピングモールの商店が立ち退きを迫られているが、交渉手法に問題があるのでは。

都市建設部長 契約の当事者同士で説明ないしは協議し

個人質問

被災者支援
ニュータウン商業施設の存続を

山田 喜代子

質問1 東日本大震災への市の対応について①被災住宅の被害状況にあわせ家屋等の修繕のための助成の考えは―住宅リフォーム制度の創設を

②印西市に身を寄せる避難者への相談体制と生活支援③放射能汚染の状況に即した農産物の検査と結果の公表、食の安全を確保すること④情報提供のあり方―防災無線、ひとり暮らし、視聴覚障がい者世帯等に対して

総務部長 ①県の被災者住宅再建支援金がある。県と市で行う利子補給の制度を検討中。リフォーム制度は県市町村の動向を見つつ調査研究。

健康福祉部長 ②避難者の皆様が対象となる各支援制度を戸別訪問で説明している。

④地域包括支援センターで安否を確認。障がい者団体や手話サークルと連携し安否確認、情報提供をしている。

環境経済部長

③4月にほうれん草、6月に小松菜の放射性ヨウ素、セシウムを検査。ホームページで公表。

質問2 身近で歩いていける地元商店街の活性化及びニ

ていただくのが基本。双方でよく話し合ってもらいたい。

その他の質問

・プール開放再開しないのか
・教室冷房化は不可欠では
・滝野プラザの跡地どうなる

ニュータウン暫定商業施設のあり方について。高花・西の原・滝野・牧の原駅北口・いには野の商業施設は高花は継続だが、4施設は一部を除き

個人質問

構造的赤字体質を抱え
危機的な国民健康保険

海老原 作一

質問 国民健康保険加入者の高齢者・現役世代の将来予測について

市民部長 平成30年度に高齢者の割合が39・6％、現役世代が51・2％と見込まれる。

質問 団塊の世代が高齢化を迎え、国民健康保険特別会計は医療費給付の増、保険税収入の目減り等により、構造的に財政が悪化していくと予測できるが市はどう考えているか

答弁 医療費の増に対し税収の増が見込めない中で不足する財源に対し一般会計からの基準外繰入を継続するとともに被保険者の方々にも負担をお願いし、健全な財政運営に努めたいと考えている。

34店舗がUR（独立行政法人都市再生機構）へ返還の予定だ。住民も商店も継続を望んでいる。その声にどう応えるのか。

都市建設部長

URに本設化を強く要望していく。

質問3

保育園入園待機者ゼロへの取り組み―子育て最優先都市の公約の実現を

健康福祉部長

希望の園に入園できない子は25人。保育士を募集しても応募が少なく保育士が不足している現状だ。

その他の質問

・民間入浴施設利用への補助について

たり市長の考えはどうか

市長

国・県の動向を注視しながら当市の国民健康保険特別会計の運営については収支の均衡を図り、健全な運営に努めたいと考えている。

その他の質問

・東日本大震災の被災状況と対応について
・地震発生時の市の対応について
・被災による市の財政への影響について

病院問題について

板倉 正直

個人質問

質問 医療法人社団正徳会が平成21年2月に県より病床配分を受け、今日まで2年4ヵ月ずるずると遅延願いを出していたが、取り消しになった。その責任は行政の最高責任者である市長にあるのでは。

市長

このような経済状況の中で資金調達が困難で再三にわたり遅延願いを提出した。その間、一日も早く二次

救急・入院のできる病院建設について願っていたが、今年3月病床を返上した。大きな責任を感じている。

質問

医療法人緑生会の資料を見ると、病床数81床、医師27名を含め、199名のスタッフ、病床数からするとスタッフは100名多い。こんな人数を使っていたら緑生会は経営が成り立つ訳がない。



地域の子ども達に活用されていた別所野球場

どのように考えるのか。

健康福祉部長

病院開設許可申請書の内容ということ、現時点は受けとめている。

質問

正徳会がうまくいかないのですその場しのぎの計画を作成したとしか考えざるを得ない。月に288万円の高い地代を払って採算が取れる訳がない。科目が多すぎるし、開設予定が平成24年12月、あと1年6ヵ月しかない。本当に開設できるのか。

答弁

開発許可申請書には、開設予定は平成24年12月

となっている。それに合わせて建築等が行われる。

質問

緑生会の山崎事務長と面会し、81床では二次救急はできないと言っていた。総合科目はいずれはやる考えとのこと。これでは、正徳会の二の舞になるのではないか。

答弁

早急に回避すべきだと思う。一刻も早く病院建設をしていただきたい。

その他の質問

・ニュータウン内に残されている自然林の保存と別所野球場の確保について 他

個人質問

暫定商業施設と
病院の誘致について

軍司 俊紀

質問1 千葉ニュータウン事業と印西市の将来について

①(株)千葉ニュータウンセンターに市としてどのように申し入れを行うのか。②居住者が日常生活に不便をきたすことがないようにどのように対応を行っていくのか。

環境経済部長 ①運営者である(株)千葉ニュータウンセンターに対しては、契約当事者同士、入居テナントと退去に関してよく話し合いをして頂きたいと考えている。②独立行政法人都市再生機構に対しては、新たな事業者を探していくこととなるので、周辺居住者のため、一刻も早い本設化に向けて営業活動等に鋭意努めて頂くよう強く要望したいと考えている。

質問2 病院の誘致について

市は病院の開設に向けてどのような方針を持ち、働きかけを行っていくつもりか。

健康福祉部長 千葉県には当市における二次救急に対応した病院開設または増床計画に対する病床配分について特段の配慮をお願いするものであり、医療法人緑生会に対しては市が求める医療環境の構築が図れるよう周産期医療に加え、二次救急医療施設の整備をお願いしたいと考えている。

質問3 大規模災害発生時の情報提供について

「情報弱者」への情報提供は充分だったか。

健康福祉部長

一人暮らしや視覚・聴覚障害者の方は大きな災害が起こった時に正確な情報を得ることが難しいた

め、自分の意思をうまく伝えられず、パニック状態になりやすいことが考えられ、今回の震災では情報が錯綜し充分

な情報提供をすることは難しかったと感じている。

その他の質問

・牧の原駅圏の将来について

個人質問

JR成田線とスポーツ振興について

小川 義人

質問1 JR成田線について

①災害に強い抜本的対策について②利便性向上について

企画財政部長 ①、②について

括して答える。東日本大震災の影響で、成田線は線路等が破損し、3月15日まで全面運休した。復旧が完了した16日以降も計画停電の影響により、毎日、運行ダイヤが変更

され、通常の90%以上の本数で運行されたのが4月5日であった。市は、当日の時刻表をホームページに掲載し、情報提供に努めた。3月末には、

成田線の運行状況の改善をJRに対し、申し入れを行った。以前も大雨による運休が発生し、利用者に対し不便をかけた。自然災害等における点検及び応急体制等を強化



様々なイベントやスポーツに利用されている松山下公園

個人質問

商業施設の活性化及び防災体制について

岩崎 成子

質問1

商業施設の活性化を推進していくための施策について伺う。

市長 ニュータウン中央駅

圏や牧の原駅圏については、大型の商業施設等の立地が進み、市の内外から非常に多くの方が来店され県内でも有数の商業活性化地域である。しかしながら、暫定施設の問題や既存市街地の商店等の活力低下など、地域ごとに個別の課題を抱えていることも十分認識している。暫定施設については、本設化するに当たり、開発事業者は地域住民のニーズを捉えた魅力的な商業施設の開設を当然考えることと思うが、市としても都市再生機構にに対し、できる限り早期の開設に向けて強く働きかけていく。また、既存市街地の商店等については、行政、事業

教育部長

①昨年4月の開館以来、国体の山岳競技など、様々な大会やイベントが開催された。12月には施設全体が

利用可能となり、幅広い分野で活用されている。②スペシャルオリンピックは、知的発達障害者を対象とし、スポーツトレーニングとその成果の発表の場である。6月にアテネで開催される世界大会に

質問2

スポーツ振興について①松山下総合体育館の利用について②スペシャルオリンピックの周知について

に協力していきたい。

個人質問

ランドローム廃止の問題について

國嶋 久善

質問1

現在には野地区には生活用品を手に入れる店がない。車の無い方、運転の出来ない方、高齢者の方が毎日困っている。いには野の住民は印旛の緑豊かな自然と恵まれた環境と利便性と歩いてすぐ行けるスーパーマーケットがあるということで転居して来た。いには野の自治会8

団体が連名で要望書を出している。行政としての対策について伺う。

環境経済部長

早期営業再開が見込めず、地域市民生活に影響が大きいと考え、独立行政法人都市再生機構を交えた3者協議を調整したところである。市は、営業が再開されていない状況において、地域住民の不便をいち早く解消する為に、暫定施設の本設化までの間、仮設店舗誘致等の取り組みを都市再生機構にお願いし、市としても、現在、営業しているコンビニエンスストアへの野菜等の販売の働

個人質問

印西牧の原駅圏の交通機関・特別支援教育

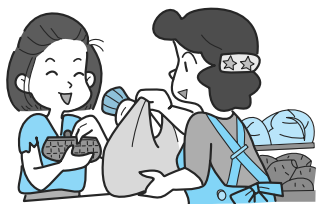
近藤 瑞枝

質問1

「アクセス特急の印西牧の原駅停車」について

企画財政部長

成田スカイアクセス開業後、アクセス特



会議録がインターネットで閲覧できます。

ホームページアドレス

<http://www.kaigiroku.net/kensaku/inzai/inzai.html>

市議会だよりに掲載の審議内容や一般質問は、紙面の都合により要約してあります。今までの会議録による閲覧に加え、インターネットによる閲覧ができますので、ぜひご覧ください。

なお、従前どおり、会議録は次の場所で閲覧できます。第2回定例会の会議録は、9月上旬頃閲覧開始予定です。

- ◇議会事務局（市役所5階）
- ◇行政資料コーナー（市役所1階）
- ◇支所（印旛・本埜）
- ◇市内図書館6館（大森、小林、小倉台、そうふけ、印旛、本埜）



急停車の日医大駅では乗車人数が19・4%増となった。牧の原駅停車は駅圏全体の利便性向上に繋がると認識しており、引き続き鉄道会社と強力に働きかけていく。

質問2 北総交通バス①ダイヤ改正と料金見直しは②物木・滝線供用開始時には大型バスの導入を。

企画財政部長 ①この4月からルートが印旛明誠高校まで延伸し、鉄道との乗り継ぎに配慮して、登下校時に増便するダイヤ改正を。また利用距離に準じた料金改正、更に高校生中学生料金を設定。②要望する。

質問3 ふれあいバスの具体的な新ルート・停留所位置は。

市長 秋から実証運行に向けて事業者の選定に着手。具体的なルート・ダイヤ等は、様々な条件調整を行い、地域公共交通活性化協議会にて決定。

な条件調整を行い、地域公共交通活性化協議会にて決定。

質問4 特別支援教育①考え方・取り組みについて②介助員について③就職支援について

教育長 ①障害のある全ての児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取り組みを支援する。その能力や可能性を最大限に伸長するため、特別支援の推進を最重要課題ととらえている。

教育部長 ②介助員は32名を配置し、全体研修を年2回、各学校において随時研修会を実施。また教育・医療・保健・福祉・労働・市民等の関係者からなる特別支援連携協議会を設立し総合的に推進。

健康福祉部長 ③就職センターやキャリアセンター、障害福祉サービス等。

個人質問

期日前投票簡素化・
デイジー教科書について

浅沼 美弥子

質問1 期日前投票時に提出する宣誓書の記入について、簡素化する考えはないか。

選挙管理委員会事務局長

期日前投票の利用者は増加する傾向にある。投票所において、住所、氏名等を記入することが煩わしいという声も聞いている。期日前投票所の混雑緩和や、投票しやすい環境づくりにつなげるため、簡素化を図っていききたい。

質問 どのような方法か。

答弁 自宅で宣誓書を記入し、投票所へ持参できる方法を考えている。具体的には、一つ目に、宣誓書をホームページ上から取得できるようにする。二つ目に、宣誓書を投票所入場整理券の裏面に印刷しておく方法だ。

質問 導入の時期について

答弁 課題が解決できたら早い時期に導入したい。

質問2 デイジー教科書について

教育長

読むことに困難を伴う学習障害のある子を対象に開発されたデイジー教科書は、発達障害のある児童生徒ひとりひとりの教育的ニーズにあわせた教育を提供するという特別支援教育の目的に合致した素晴らしい教材の一つであると認識している。

質問 活用等について

教育部長 一件の活用事例がある。今後、市教育委員会主

催の特別支援教育にかかわる教職員の研修会で活用例などの紹介を通し周知に努める。

その他の質問

・事業継承計画(BCP)について
・企業の社会的責任(CSR)及び自治体版CSRについて
・障害者自立支援法について
・森林の整備及び保全について



教科書の内容をパソコンなどを活用して音声や文字で同時再生できるようにしたデイジー教科書

個人質問

北総鉄道の債務残高は？

雨宮 弘明

質問1 人事政策について
企画財政部長に本省出向者が2代4年間在任したが、どのように評価しているか。

市長 前半は経済産業省から、後半は総務省から出向していた。新設した企画財政部で、企画・計画・まち

づくり部門と財政部門の両輪調整をお願いした。具体的には、市民参加条例の制定、木下・小林地区の活性化、北総線の運賃対策、新市における総合計画の策定などを進めていただいた。

質問 人材育成方針は――

答弁

本年度は、国や千葉県への派遣研修や自治体大学校などでの研修、我孫子市との人事交流など積極的に実施した。「人材育成基本方針」を策定して10年余り経過したので、社会情勢、市民ニーズの変化、合併による環境変化に対応する必要性が生じたので見直しを指示した。

質問2 北総線の高運賃問題について

新任部長として、これまで大幅な運賃値下げが実現しなかった最大の原因は何だと認識しているか。

企画財政部長 2期線の建

設費が多額にのぼり、その債務返済が続いていることが一番大きな原因と考えている。

質問 平成22年度末の債務残高はいくらになっているか。

答弁 6月28日の株主総会までは公表を控えた。

質問 印西市は株主であり北総鉄道は公共交通事業者として社会的責任がある。議長より質問の資料を提出するよう命じていただきたい。

答弁 北総鉄道に伺ったところ、非上場で株主総会前なので公表を控えてほしいとのことだった。

個人質問

安心の地域防災体制と
懸案課題の早期解決を

松尾 榮子

質問1 東日本大震災の教訓を生かした地域防災体制を。印西市では液状化被害をはじめ、都市化に伴い多数の帰宅困難者の発生や、電話の不通に伴う保育園、小学校等と園児・児童の親との連絡体制の問題等も発生した。①地域防災計画、災害ハザードマップ等の検証と見直しは。②震災時の状況について市民にアンケートをとってはどうか。

総務部長 ①本年度からの市地域防災計画の改訂に当たり今回の被害状況や課題を十分検証し反映してまいりたい。②地域防災計画改訂の中で防災アセスメント調査を実施予定。この中で市民アンケート調査も検討していきたい。

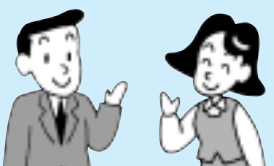
質問2 新市のまちづくりの課題・幹線道路網について。

①ニュータウン事業の幹線道路は平成25年度の事業収束までに完了の見込みはあるのか。

②北部駅圏と新都市ゾーンを結ぶコスモス通りやニュータウン区域内から区域外を結ぶ船橋印西線等の事業収束後の体制は。③千葉ニュータウン北環状線は白井市域で未着工区間があり交通ネットワークが中断している。進捗状況は。

都市建設部長 ①事業区域内の幹線道路は事業期間内に整備完了予定と機構から聞いている。②コスモス通りは県事業であり、早期に事業着手できるように用地買収を進める。船橋印西線のニュータウン事

ご意見・ご感想を
お寄せください！



議会だよりを読んで感じたことなど、皆さまのご意見をお待ちしております。

〒270-1396
印西市大森2364-2 議会事務局
TEL: 0476-42-5111
(内線607・608)
FAX: 0476-42-5299
Mail: gikai@ml.city.inzai.chiba.jp

《議会を傍聴してみませんか》

次の定例会は、9月5日(月)～10月5日(水)の会期予定です。開会は10時からとなりますので、5階議場にお越しください。なお、都合により変更になる場合もあります。詳細については、お尋ねください。
印西市議会事務局
☎0476-42-5111 (内線607・608)



業区域外の部分は重要な路線であり、県に早期事業化を要望していく。③白井市清戸周辺の未着工区間は、平成26年度供用開始を目指し、平成24年度工事着手に向け関係機関

と協議中と聞いている。
その他の質問
・病院問題
・子どもたちが市を愛し誇れるふるさとづくり 他

橋本 和治

個人質問

学校施設の 防災機能の強化について

質問 体育館などの学校施設は、災害時には避難所などの防災拠点となる。学校の防災機能の強化について伺う。
教育部長 各避難所に防災倉庫を設置しているが、寒さ対策や太陽光などの設備は一部に留まっており、強化に努めたい。また、学校施設の耐震化を進めており、今年度は3校の耐震補強工事を行う。

質問 公明党の要求で、国の第一次補正予算に学校の耐震補強の予算が盛り込まれた。市として耐震補強の補助金の申請を行っていると思うが、その見通しはどうか。

答弁 学校施設の耐震化事業、3事業すべてについて、国から、第一次補正予算補助事業とする旨の内定通知があった。

質問 文部科学省は学校施設の防災機能を強化すると発表し、貯水槽や自家発電装置の整備も進めるとした。本市の小中学校で、貯水槽と発電装置を備えているのはどこか。
答弁 貯水槽はないが、学校備え付けの受水槽を活用している。また、防火倉庫に小

型発電機を配備している。

質問 避難所にいる被災者にとつての情報収集はテレビに負うところが大きい。避難

個人質問

生活利便施設について

藤代 武雄

質問1 なぜ千葉ニュータウン暫定商業施設を本設化するのか。

都市建設部長 平成19年12月に国の「独立行政法人整理合理化計画」が閣議決定され、ニュータウン事業の完了・土地の早期処分完了を行うとともに、利便施設については、賃借人である施設運営会社との協議が整い次第、売却することが求められ、独立行政法人都市再生機構では、本設化への移行を行うことになったとのこと。

質問 暫定施設から本設化された施設の状況について。
答弁 千葉ニュータウン中

央駅の北口のアルカサル、南口のアリオ、木刈及び内野のショッピングセンターがある。

所でテレビの受信は可能か。

答弁 現在避難所に指定されている施設で、テレビの受信設備が備わっているところは一カ所のみ。今後、避難所における情報収集、提供の方法等については、関係課と協議して、対応を検討したい。

その他の質問

- ・防災行政無線の補完
- ・被災者支援システムの導入
- ・福島原発からの放射線対策
- ・病院誘致の現状
- ・夏に向けての節電対策
- ・買い物困窮者への対策

質問2 ランドローム日医大駅前店の駐車場について。

環境経済部長 都市再生機構に確認したところ、東日本大震災を要因に店舗の閉店を決める前の本年1月に、千葉ニュータウン駅前センタービル株式会社駐車場用地はいらないと伝えていたとのこと。

質問 再開についてどのよう認識しているか。

答弁 大店立地法により確保できる駐車場がない以上、これまで通りの営業再開は非常に難しいものと認識している。

質問 再開に至らなかった場合の生活利便施設について。

答弁 都市再生機構に対し、一刻も早く本設化施設としての新たな生活利便施設な

どの立地を求めるとともに、本設化までの間、仮設店舗の誘致等の取り組みをお願いしたい。

その他の質問

- ・東日本大震災における農業被害について
- ・市史編さん事業について

酢崎 義行

個人質問

国際化の推進について

質問 国際化推進の方針策定に関する進捗状況について

市長 外国人登録者数の増加や都心及び成田国際空港への交通アクセスの向上などもあり、国際化への対応の重要性はますます高まるものと認識している。国際化推進体制の強化や日本人市民と外国人市民が共に暮らしやすい環境づくりの推進を念頭に置き、策定したい。

進捗状況は、市民参加の観点から公募市民・市内国際関連団体・在住外国人及び学識経験者からなる懇談会を7月に立ち上げるべく準備を進めている。

質問 本年度予算に、友好都市調査費を計上しているが、現状と予定について

答弁 友好都市の候補のひとつとして、印西中学校と20年以上にわたって姉妹校交流



平成22年度に来日したウィリアム・ルーズベン校。印西中学校と交流を深めています。

の実績のあるウィリアム・ルーズベン校が所在するオーストラリアのダルビン市を調査対象と考えている。

この夏に行われる印西中学校の訪豪に合わせ、私と職員2名が同市のアスマール市長と友好都市の検討などに関する会談を行うことが決まっている。

質問 交流内容の検討に関

する市長の見解について

答弁 市民の国際化意識の高揚と多文化共生の観点から、将来の印西市に役立つような交流の可能性について検討したい。

その他の質問

- ・印西市の放射能汚染について
- ・ちば電子調達システムの導入について

上條 公司

個人質問

『印西市防災計画』は 現実に即して見直しを

質問 先の東日本大震災の被災者に、改めてお見舞い申し上げます。

想像を絶する被害に質問内容を災害一本に絞った。日頃災害の少ない印西市にあつては、今回は大災害との認識を持つている。市内物的被害の復旧工事進行状況が気になる。また「印西市防災計画」は見直す必要が生じたと思う。

①災害時支援協定は適切に機能したか。②市内に在る、使っていない教員住宅（千葉県所有）を被災者に提供できなかったのは、耐震補強ができていないことが理由か。

総務部長 ①協定を結んでいるイオン（株）及び（株）スウィングベーカーリー（食料供給）、（株）ジョイフル本田（物資供給）には協力が得られなかった。

教育部長 ②（教員住宅提供は）県教育庁と協議した。耐震診断未実施、老朽化、入

さて、原発避難者を印西市で受け入れたことは適切な処置であつたと思う。ただこの間、受入れ先である総合福祉センターの「いこいの湯」を市民は利用禁止。市民にも風呂が壊れた者はおろし、市内被災者にも配慮すべきではないか。

また、先ごろ印西市は原発事故に絡み学校や公園等、市内48カ所の放射線量測定を実施した。その際、私立幼稚園は測定から外した。市民の安心・安全は公平に願いたい。

市長 協定先の企業に責任はない。口頭で、流山、我孫子の市長と支援協定を結んだ。

各常任委員会での審査

一部の議案及び請願について、所管の常任委員会に付託し、審査を行いました。6月20日に総務企画常任委員会、21日に文教福祉常任委員会、22日に建設経済常任委員会をそれぞれ開催しました。

ここでは、紙面の関係により、委員会で行われた議案の主な質疑及びその答弁の一部について掲載します。

総務企画 常任委員会

議案第1号 印西市自転車駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について（市が管理す

る自転車駐車場について、指定管理者に管理させるための規定を加えるものなど）

質疑 稼働率について、今後どのように推移していくと見られるか。

答弁 木下駅北口自転車駐車場は現状のままか多少のプ



利用者の増加が見込まれる自転車駐車場

ラスで推移される。小林駅南口自転車駐車場は開発等が進むことで上がってくるのではないかと。千葉ニュータウン中央駅の北口、南口は居住者の充足がはかられていると判断する。印西牧の原駅は東の原地区と21住区のまち開きが行われると上がってくるものと考えられる。

質疑 今年度の定額使用料はいくらになると見込んでいますか。

答弁 歳入は3740万3400円である。

質疑 委託費の根拠について。

答弁 委託費については、シルバー人材センターの場合、整理と受付業務である。

質疑 附則の準備行為を含めて、今後のスケジュールはどうなっているか。

答弁 条例の改正後は募集要項、仕様書の作成に当たる。指定管理者選定委員会を通して、募集要項、仕様書の策定、それから募集になる。指定管理者の候補者を選定し、12月議会で指定管理者の指定の議決をお願いする。その後準備行為に入り、平成24年度4月1日からスタートと考えている。

質疑 利用のピーク時で利用稼働率はどれくらい期待できるのか。また、指定管理者によってどういうメリットがあり導入されるのか。

答弁 具体的な数字は持っていないが、印西牧の原駅において、利用者の増加に伴い、稼働率もっと増えていくと

考える。また、多様化する住民ニーズにこたえて、より効果的、効率的に対応して、住民サービスの向上と経費の削減を図ることがねらいである。

質疑 歳入が歳出を上回った場合、利用料金を下げるという考えはあるか。

答弁 上限の料金を第15条で定めている。そのなかで、指定管理者が市長の承認を得て定めることができるという考えでこの条項を入れたのである。

議案第2号 印西市税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について（印西市税条例第54条第6項の改正規定の施行期日を地方自治法の一部を改正する法律の施行日としている規定について当該法律の法律番号を改めるもの）

質疑 この第54条というのは、固定資産税の納税義務者等と書いてあって、第6項というのは公有水面埋立法、これは大正10年にできたということだが、印西市民に該当者はいえるのか。

答弁 印西市に該当者はいない。この地方開発事業団は、日本には東北地方に1カ所、青森県にある。

議案第5号 財産の取得について（消防ポンプ自動車2台の新たな取得）

質疑 耐用年数と老朽化の基準を伺う。全市で消防団の消防ポンプ自動車が何台ある

か。

答弁 耐用年数は特に基準を設けていない。計画では20年で更新することとしている。消防ポンプ自動車は同型のものが5台である。

質疑 購入計画を立てているのか。

答弁 合併前に計画を立てたところだが、合併し、消防団の組織等も変わったので、組織等も考え、再度計画を立てたい。

質疑 購入計画は今年度中につくるのか、また、20年を目安に購入するということがあるのか。

答弁 計画は本年度中に更新、改訂する予定である。また、なるべく計画的に購入できるようにしたいと考えている。

質疑 老朽化した消防自動車の処遇はどのように対処されるのか。東日本大震災で消防団等の設備等がなくなってしまった被災地に、リニューアルして2台の消防車を寄贈することは考えているか。

答弁 新しい車両が入った場合、廃車と考えているが、被災地への寄贈について、検討したい。

請願

▼夏休みの小学校プール開放再開を求める請願（不採択）

地域の子ども達にとって、夏休みのプール開放は身近で安全な遊び場で、学年を超えた子ども同士の交流の場であ

ることから、プール開放の再開を強く求めるもの。
文教福祉常任委員会に付託され、6月21日に審査が行われ、不採択とすべきものと決定されました。

▼「容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書」の採択を求める請願（採択）

現行の法令及び制度下においては、容器包装を選択する事業者において発生抑制等に取り組もうとする要因が働かないことから、容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書を国に提出することを求めるもの。

建設経済常任委員会に付託され、6月22日に審査が行われ、採択すべきものと決定されました。

▼「地方消費者行政を充実させるため、地方消費者行政に対する国による実効的支援を求める意見書」を政府等に出すことの採択を求める請願（採択）

国による地方消費者行政に対する実効的な財政措置、具体的な制度設計の提示や、消費生活相談員の地位・待遇の向上を可能とすることができ

る制度を新たに整備する必要を政府等に提出するもの。
建設経済常任委員会に付託され、6月22日に審査が行われ、採択すべきものと決定されました。

発議案

▼ニュータウン等対策特別委員会の設置について（可決）

平成26年3月の事業収束に向けてのまちづくり及びその後のまちづくりについての調査研究並びに北千葉道路開通の早期実現に向けての調査研究のために設置するもの。

▼クリーンセンター次期中間処理施設整備等特別委員会の設置について（可決）

クリーンセンター次期中間処理施設整備等に関する調査研究のため設置するもの。

▼印西市基本構想の策定に関する条例の制定について（可決）

市が総合的かつ計画的な行政の運営を図るため、まちづくりの最も基本的な指針となる印西市基本構想を策定することに關し、必要な事項を定めるもの。

▼議会改革推進特別委員会の設置について（可決）

印西市議会における改革すべき事項について検討を行い議会改革を推し進めていくために設置するもの。

▼容器包装リサイクル法を改正し発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書の提出について（可決）

容器包装リサイクル法を改正し発生抑制と再使用を促進

議会日誌

5月

- 18(水) 平成23年第1回臨時会
全員協議会
- 24(火) 全員協議会
議会だより編集委員会
- 27(金) 印旛郡市広域市町村圏事務組合議会臨時会

6月

- 1(水) 会派代表者会議
議会運営委員会
正副委員長会議
- 2(木) 第77回関東市議会議長会定期総会
印西地区環境整備事業組合議会臨時会
- 9(木) 平成23年第2回定例会（～30日）
議会運営委員会
議会だより編集委員会
- 10(金) 全員協議会
- 13(月) 会派代表者会議
- 14(火) 全員協議会
- 15(水) 全国市議会議長会総会
- 16(木) 議会運営委員会
- 20(月) 総務企画常任委員会
- 21(火) 文教福祉常任委員会
会派代表者会議
- 22(水) 建設経済常任委員会
- 23(木) 印西地区消防組合議会臨時会
- 27(月) 全員協議会
クリーンセンター次期中間処理施設整備等特別委員会
議会だより編集委員会
- 28(火) 印西地区衛生組合議会臨時会
- 30(木) 議会運営委員会

7月

- 4(月) 成田線活性化推進協議会総会
全国市議会議長会社会文教委員会
議会運営委員会視察（～6日）
- 11(月) ニュータウン等対策特別委員会
- 12(火) 成田線活性化推進協議会要望活動
- 13(水) 手賀沼水環境保全協議会総会
- 15(金) 北千葉道路建設促進期成同盟
- 20(水) 議会だより編集委員会
- 21(木) 印旛沼水質保全協議会通常総会
- 22(金) 我孫子市・印西市まちづくり協議会
- 27(水) 長門川水道企業団議会定例会
- 28(木) 議会だより編集委員会

「いんざい市議会だより」の
1面に掲載する写真を
募集しています！

応募方法などお問合せは議会事務局まで。
●議会事務局 〒270-1396 印西市大森2364-2
TEL.0476-42-5111（内線607・608）



委員長 渡邊 正一
副委員長 橋本 和治
委員 海老原 作一
藤代 武雄
松尾 榮子

(HK)

するための法律の制定を求
ることを意見書として国に提
出するもの。

▼地方消費者行政に対する国
の実効的支援を求める意見書
の提出について〈可決〉

地方消費者行政に対する実
効的支援を求めることを意見
書として国に提出するもの。

陳情

▼大幅増員と夜勤改善で安
全、安心の医療・介護を求め
る陳情〈議員配付〉

▼ランドローム日本医大駅前
店の早期営業再開を求める陳
情〈議員配付〉

▼放射線測定に関する陳情
〈議員配付〉



山形県上山市「議会資料の世帯配付等
情報提供について」等視察

視察研修報告

議会運営委員会では、7月
4日～6日の日程で、議会改
革の一助とするために視察研
修をおこなった。視察先と視
察のテーマは次の通り。

4日、福島県会津若松市議
会（テーマ 議会制度検討委
員会による「議会活動と議員
定数等との関連性及びそれら
のありかた」の検討について）
5日、山形県上山市議会
（テーマ ①議会資料の世帯

配布等情報提供について及び
②サンデー議会の開催につ
いて）

6日、山形県庄内町議会
（テーマ 議会基本条例と議
会改革について）

会津若松市議会は、議会改
革の先駆的な取り組みを行っ
ているとして、全国的にも高
い評価を得ており、噂にたが
わず先進的な取り組みであ
り、本市議会の議会改革に向
けて大いに参考となった。特
に、議員定数と議員報酬のあ
り方については市民代表を交
えた「議会制度検討委員会」
を設置し検討したそうで、そ
の当初は、「議会改革イコール
「定数減・報酬減」と思い込
んでいる議員や多くの市民に
対し、「定数減・報酬減あり
きではない」というところか
ら議論をスタートさせた点に

もつとも苦勞されたようだ。
各自自治体において、適正な議
員定数について模索している
なか、会津若松市議会の取り
組みは本市議会にとっても一
つの指標となりうるものと思
われる。

山形県上山市の①議会資料
を全世帯に配布する取り組み
は、本市でも速やかに実施し
たい。配布方法についての技
術的な課題はあるものの、一
般質問の概要について広く市
民の方々に周知する方法とし
ては有効な手法である。②日
曜に議会を開催するサンデー
議会については、市民にとっ
て傍聴をしやすくするという
大きなメリットはあるものの、
本市議会の場合、一日ですべ
ての質問を終わらせることは
無理で、実行するには相当の
難しさがある。今後、更なる
研究が必要と思われる。

山形県庄内町議会は、合併
前の旧余目町議会の時代か

お知らせ

請願・陳情の提出はお早めに

請願・陳情書はいつでも提出できま
すが、平成23年第3回定例会（9月議会）
で審議される請願・陳情書の提出期限
は、8月26日（金）正午（予定）です。
お早目のご提出をお願いいたします。

一般質問の閲覧

平成23年第3回定例会（9月議会）で
予定されている一般質問（会派代表・
個人）の内容は、8月30日（火）以降
ホームページで閲覧できる予定です。

ら、積極的に議会改革と活性
化に取り組んでおり、評判の
高い議会である。特に、議会
運営委員会として注目すべき
は、議会活性化及び適正な議
事運営に資するために、定例
会終了後に必ず議会運営委員
会を開催し、会期日程・発言
内容・議事進行などについて
検証を行っている点である。
更に、議会運営の改善点につ
いては議会運営委員会にはか
り、全員協議会で協議してき

めているとのことであった。
また、常任委員会においては、
政策提言のテーマを決めて、
一定の調査研究の後、執行部
に対し政策提言を行い、その
後の執行部の取り組み状況に
ついて検証を行っている点
は、今後の本市議会において
も実施に向けて検討すべきで
ある。これ以外にも庄内町議
会では多くの先進的な取り組
みを行っており、導入に向け
て、積極的に検討したい。

編集後記

合併後最初の市議会選挙の
結果をうけ、常任委員会の選
任と議会人事が行われ、編集
委員も新たなメンバーでスタ
ートすることになりました。

議会においては、議会改革
が大きなテーマとなっていま
す。新議長は議会改革を積極
的に推進することを目標に掲
げて、議長に就任いたしました。
また、議会中継も速やか
な実施を目指して準備が始ま
っています。そのような状況
のなか、議会だよりの果たす
役割と責任は、極めて重大で
あると私たち委員一同、身の
引き締まる思いで一杯です。

委員一同は、市民の皆様が
議会を身近に感じて頂けるよ
う、そしてわかりやすい紙面
づくりを目指してまいりま
す。これからの2年間、宜し
くお願い申し上げます。